

『一生懸命』幻の新座市議会報告第138弾!



たかむらともや

9月議会

9月議会が終わりました。並木新市長の施政方針に対する質問ではじまった9月議会ですが、僕たち”市民と語る会”はいくつかの市長提出議案に反対しました。我々は常に是々非々です。

さて、今回の一般質問は大きく分けて4つの質問をしました。1番目は同時進行している都市計画道路「保谷・朝霞線」「放射七号」「東久留米・志木線」についてでした。

東久留米・志木線については、最後の地権者との地道な交渉が実り、「収用委員会」への訴えを取り下げること、9月末には契約が成立しました。

上から目線で「市の方針に従え!」ということ自体が間違っていたのです。地権者の要望をよく聞いて、双方の考えを理解することでしか、大型の道路建設は無理なのだとすることを、僕らは東久留米・志木線から学ばなくてはなりません。

一方の保谷・朝霞線ですが、「地域住民の声に耳をかさず県の言いなりになって27mの大型道路をつくらせる積りなのか」と質問をしました。驚いたのは、新市長が「あれは県の道路です」と答弁したことです。部長も「市としては何も調査をしていないので、その問題点は認識していません」と答弁しました。県は地域住民に対する説明会を「1年後にやります」と約束していながら、2年経った今もしていません。県は全くやる気なし、市も「あれは県の道路だから」とやる気なし。どちらもやる気がないのなら、多分道路が完成することはないでしょう。(3)



2016年9月30日発行



9月25日(日)久しぶりに五中8期生のテニス部の子たちと再会しました。テニスをして、昔の話で大いに盛り上がりました。(3)

たかやんのプロフィール



1954年2月、東京青山生まれ。新宿区立西戸山中学校、都立石神井高校卒。北大3年の時に、突然教師を目指しはじめ、無理やり教職の単位を取る。

北大卒業直後の4月、五中1期生の3年4組を担当する。当時、新任で中三の担任をしたのは全国で一人だけだった。(その上、2年生の理科も担当した。)

五中、六中、二中でのあだ名がたかやん。

大好きな政治家は田中角栄、ホセ・ムヒカ、バーニー・サンダース、そして翁長雄志。

大好きなものは「子どもたちの笑顔」「テニス」「音楽」「川掃除」「駅立ち」「写真」「餃子」「読書」

大嫌いな政治家は「安倍晋三」大嫌いなものは「今の自民党」「自民党憲法草案」「欲に塗れたグローバリストと政治家たち」「TPP」「核兵器と原発」「弱い者いじめ」「煙草を平気で道路や川に捨てる人間」「煙草の煙」「集団的自衛権」「消費税」「改正派遣法」「マイナンバー」「税逃れをする金持ち」「牡蠣」

身長175センチ、73キロ、体脂肪率15.7% (3)

たかやんの応援団 で 検索

たかやんの連絡先 自宅 042-456-8869 携帯 090-6497-5737
mail:takayanchan@jcom.home.ne.jp 〒352-0033 新座市石神3-19-32-106

③ TPP!!

自民党の憲法草案も恐ろしいですが、それ以上に怖いのはTPPです。アメリカの製薬会社は原価数円の薬を15万で売っています。日本の製薬会社まで一回の投与で73万円という信じられないくらい高価なガンの特効薬を売り始めました。

TPPというバカバカしいシステムが動き出したら、国民皆保険が破壊され、アメリカのように盲腸の手術で300万も自腹を切らなきゃいけない世の中になるでしょう。TPPにはISD条項もラチェット条項もあります。是非グーグルってください。子ども達がこれほど苦しんでいる子宮頸がんワクチンの接種だって、何故国が打たせないんだ！とアメリカの製薬会社に国が訴えられることになるでしょう。TPPは農業の問題でも国と国との問題でもありません。

この問題はTPPによって大儲けする”多国籍企業”対TPPに加盟することによって、搾取されるであろう全ての国の”国民”との闘いなのです。

自民党をはじめとする国会議員達は日本国民の生命と財産を守る為にではなく、自分たちに献金してくれる”グローバル大企業”の利益を守る為に必死にTPPを成立させようとしているのです。

グローバル(多国籍)大企業に搾り取られないように、国民が力を合わせて反対しなければなりません。トリクルダウンは絶対に起きません。TPPで格差が今まで以上に広がるだけです。

「消費税を増税しないと大変なことになる。」「日本の借金は1000兆を超えた」と騒いでいる人たちの顔を見ていれば、それが嘘だということが直ぐに分かります。「福島第一は完全にコントロールされています」と平気な顔でいい切った安倍晋三と同じやり方です。消費税やTPPに賛成している人間はグローバル関係者でしょ？

「普天間の代替地は辺野古しかありえない」という嘘にも騙されないようにしないとイケません。国土の0.6%しかない沖縄に米軍専用基地総面積の73.8%を集中させることは安全保障上も問題です。

安倍晋三という冷血な長州人が琉球も会津も見捨て、日本国の民を見捨てて、大企業と米国に尻尾を振りまくっているのです。彼には日本を愛する心など微塵もありません。それだけは言っておきたいと思います。

③ 怪我

久しぶりの駅立ちになりました。勿論、選挙があったので、立てなかったのですが・・・実は怪我をしていました。まず、テニスの練習で手首を怪我をして・・・テニスが全くできなくなりました。

そして、一か月前に転倒し頭を庇い”むち打ち”になってしまったのです。これには本当に参りました。最初の頃は寝返りもできず、歩くのも大変な状態でした。楽しみにしていた教え子の結婚式に出られず、議会でも手が挙げられない状態で、本当に情けない限りでした。まだ完全には治ってないようですが、そろそろ駅立ちとテニスができそうな気がしています。



③ 同窓会

そんな時に、「先生、テニス部で集まりましょう！」と声を掛けてくれたのが五中8期生の熊谷賢(写真右端)です。「みんなで集まってテニスもしましょう！」とやや強引に同期の仲間たちに声をかけてくれたのです。

テニスの方は手首が痛くて、どうにもなりませんでしたが、15歳離れた教え子たちとの試合はやはり楽しくて・・・2時間があっという間でした。

その後、五中の7期生で若くして逝ってしまった、ター坊(小杉貴子)のお墓参りにみんなで行きました。長い間、部活をやってきましたが、1年後輩が大勢で御墓参りをするシーンは初めてでした。それだけ、ター坊は後輩から慕われていたということでしょう。

その後は我が家で大いに食べて、大いに語りました。賢たちの学年は全国がかかった関東大会であと1ゲームが取れず、泣いた学年でした。その時の悔しさが忘れられなかったから、翌年全国で準優勝し、六中で2回全国優勝できたのだと思います。③